



株式会社日本レジストリサービス

URL : <https://jprs.co.jp/> URL : <https://日本レジストリサービス.jp/>
E-mail : info@jprs.jp

Japan Registry Services CORPORATE PROFILE

株式会社日本レジストリサービス ● 会社案内



東京本社
〒101-0065 東京都千代田区西神田3-8-1 千代田ファーストビル 東館13F
TEL : 03-5215-8451 FAX : 03-5215-8452



JR大阪駅(桜橋口)、地下鉄西梅田駅(南改札)などから地下通路にて直結(C72出口)

大阪オフィス
〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ10F
TEL : 06-7639-6001 FAX : 06-6455-5324

2020年4月1日発行



ネットワーク社会に貢献し、豊かな社会の実現へ

インターネットの基盤を支え、豊かな未来を築く

今や現代社会を支える重要な基盤の一つとなったインターネット。中でもドメイン名はインターネットにアクセスする際の鍵となる不可欠なものです。株式会社日本レジストリサービス(JPRS)は、ドメイン名の登録管理と、ドメインネームシステム(DNS)の運用を通して、インターネットの基盤を24時間×365日支えています。

ドメイン名関連技術とJPDメイン名の価値創造を通して、社会に貢献する

ドメイン名の登録管理とDNSの運用を、より安定的で信頼性の高いものにするためには、最新の高度な技術が欠かせません。さらに、ドメイン名の運用で培ったDNS関連技術を応用して、新しいサービスを社会へ提供することも、ネットワークの基盤を支える企業としての重要な課題と考えます。そのため、私たちJPRSは、新技術の開発や研究にも日々積極的に取り組んでいます。

また、JPDメイン名は日本国内だけでなく、世界中から利用できます。そのため、JPRSは「JPDメイン名」が、日本のみならずグローバルなコミュニティにとって、より利用しやすく価値の高いものとなるように、サービスの改善・開発、プロモーション活動などに取り組んでいます。

ネットワークの基盤を支える企業としての責任

私たちは、ネットワークの基盤を支える企業として、その重要性を認識し、期待に応えるため、様々な方策を講じ、信頼性の向上に努めています。さらに、国内外のインターネット関連組織や日本国政府と十分な連携をとって、インターネットの発展に寄与しています。

JPRSは今後も、社会にいっそう貢献できるよう、さらなる努力を続けてまいります。

企業理念

JPRSは、ネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献します。

代表取締役社長 東田 幸樹



□会社概要

商号	株式会社日本レジストリサービス
略称	JPRS
設立	2000年12月26日
所在地	【東京本社】 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-8-1 千代田ファーストビル東館13F TEL 03-5215-8451 FAX 03-5215-8452 【大阪オフィス】 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ10F TEL 06-7639-6001 FAX 06-6455-5324
E-Mail	info@jprs.jp
URL	https://jprs.co.jp/ https://日本レジストリサービス.jp/
資本金	3億4,414万円
役員	代表取締役社長／東田 幸樹 取締役副社長／堀田 博文 取締役／宇井 隆晴 取締役(社外)／室町 正実 取締役(社外)／小湊 高清 常勤監査役／林 茂広 監査役(社外)／山本 芳人 監査役(社外)／堀田 巧 監査役(社外)／大竹 たかし
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
社員数	102名(2020年4月1日)
主要取引銀行	三菱UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行
取得認証など	ISO27001(ドメインレジストリ事業) WebTrust規準

□沿革

2000年	12月22日
2001年	12月26日 2月5日 2月22日 5月7日
2002年	1月30日 2月27日 4月1日 12月20日
2003年	6月30日 10月1日
2004年	4月1日
2005年	12月20日
2006年	4月3日
2007年	3月4日 12月4日 3月1日
2008年	3月1日
2009年	4月22日
2011年	1月16日
2012年	11月18日
2013年	3月13日 11月1日
2014年	11月3日
2015年	6月23日
2016年	4月26日 6月13日
2017年	9月1日 10月31日
2018年	2月1日 11月1日
2019年	9月25日
2020年	1月21日

JPNIC第11回総会にて、JPDメイン名登録管理業務を行う新会社の設立を決議
株式会社日本レジストリサービス設立
汎用JPDメイン名の登録に関する業務代行契約をJPNICと締結
汎用JPDメイン名の事前登録申請受付を開始
汎用JPDメイン名の先願登録申請受付を開始
日本国政府がICANNに対して、JPRSへのJPDメイン名登録管理業務の再委任についてエンドース
ICANNとの間でccTLDスポンサ契約を締結
JPDメイン名登録管理業務をJPNICから移管
第三者割当増資を実施(新株主11社)
ICANNより国際化ドメイン名サービスに関する承認文書を受領
自己株式の第三者割当を実施(新株主2社)
JPNIC保有株式の一部について譲渡を承認
MLルートサーバーの運用に参画
JP DNSの更新間隔短縮を実施
汎用JPDメイン名に「廃止ドメイン名の登録回復手続」を導入
JP DNSにIP Anycast技術を導入
JPDメイン名の累計登録数が100万件を突破
「BIND10」開発プロジェクトへの参画を発表
JPDメイン名サービスにDNSSECを導入
都道府県型JPDメイン名を新設
JPNICとJPDメイン名登録管理業務移管契約に関する覚書を締結
大阪オフィスを開設
都道府県型JPDメイン名の都道府県ラベルに日本語を導入
ICANN及びJPNICとICANN文書の日本語翻訳に関し協力する旨の覚書を締結
「JPRSサーバー証明書発行サービス」の提供を開始
電気通信事業法等の一部を改正する法律の施行に伴い、電気通信事業を届出
汎用JPDメイン名の累計登録数が100万件を突破
電力系通信事業者8社と大規模災害時のインターネット継続利用に関する共同研究の成果を公開
JPDメイン名の累計登録数が150万件を突破
学校名の日本語JPDメイン名の通常登録申請の受け付けを開始
ISO27001認証取得(ドメインレジストリ事業)
認証局の信頼性を保証するWebTrust規準に準拠

Japan Registry Services CORPORATE PROFILE

□主要株主(五十音順)

株式会社IDCフロンティア
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社ASJ
株式会社SRA
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
KDDI株式会社
さくらインターネット株式会社
GMOインターネット株式会社
ソニー株式会社
第一生命保険株式会社
TIS株式会社
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
東日本電信電話株式会社
株式会社日立製作所
三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
日本レジストリサービス持株会/役員

□主な加盟・参加団体

一般社団法人ICT-ISAC
一般財団法人インターネット協会(IAJapan)
大阪商工会議所
特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会(JAPIAS)
公益社団法人経済同友会
一般社団法人テレコムサービス協会
東京商工会議所
一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)
一般社団法人日本経済団体連合会(経団連)
日本DNSオペレーターズグループ(DNSOPS.JP)
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)
日本ネットワーク・オペレーターズ・グループ(JANOG)
フィッシング対策協議会
IPv6社会実装推進タスクフォース
WIDEプロジェクト
Asia Pacific Top Level Domain Association(APTLD)
Council of European National Top Level Domain Registries(CENTR)
Country Code Names Supporting Organisation(ccNSO)
DNS Operations,Analysis,and Research Center(DNS-OARC)
DotAsia Organisation Limited
Internet Corporation for Assigned Names and Numbers(ICANN)
Internet Engineering Task Force(IETF)
Internet Society(ISOC)
World Wide Web Consortium(W3C)

JPRSは、ドメイン名の登録管理・取り次ぎとDNSの運用を中心とするドメイン名サービスを行っています。更に、インターネットを支える各種技術の研究・開発にも取り組んでいます。

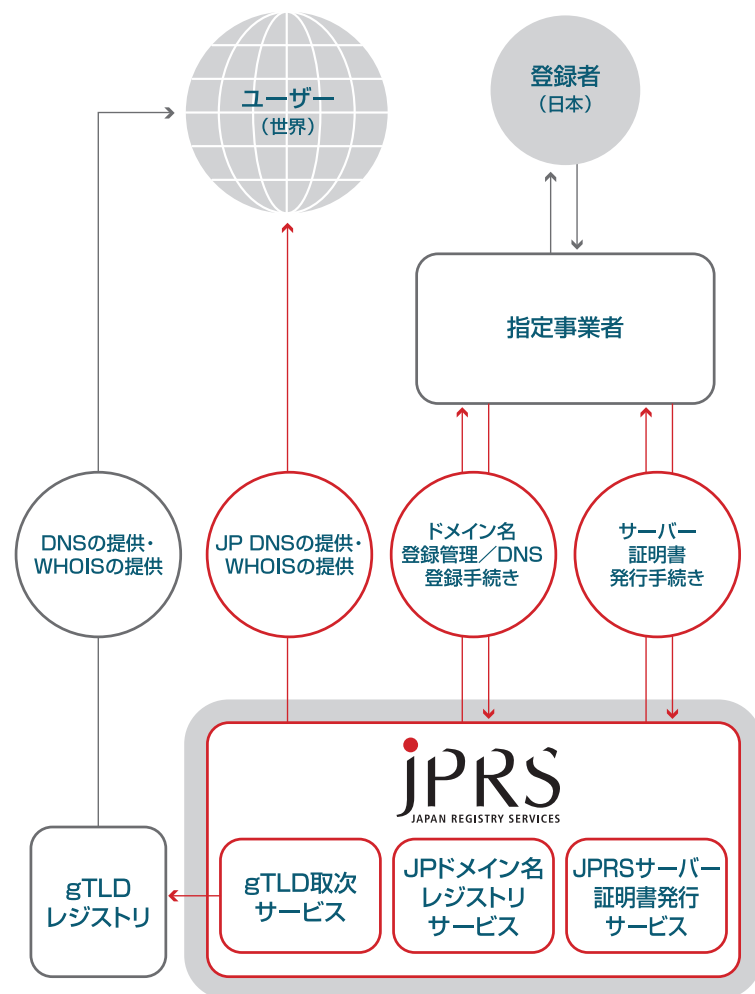
JPRSの事業概要について

ドメイン名サービス

ドメイン名の登録は、まず登録希望者が指定事業者へ申し込みを行い、指定事業者からJPRSに手続きが行われます。このような構造を取ることで、登録者へ提供するサービスの多様化、競争による品質の向上、サービス規模の拡大が可能になります。

JPRSは、JPDメイン名のレジストリとして、指定事業者を通して申し込まれたJPDメイン名の登録資格審査／受け付け、登録されたすべてのJPDメイン名のデータベース管理と運用を担います。具体的には、世界中のユーザーに対し、JP DNSの運用、WHOISによる情報提供などのサービスを行っています。また、指定事業者を通して申し込まれたJPDメイン名以外のドメイン名（gTLDなど）についても、各レジストリへの取り次ぎを行っています。更に、ドメイン名の安全性・信頼性を高めるために、サーバー証明書発行サービスも提供しています。

この他、登録者・ユーザーのニーズに迅速に対応するため、新技術の開発や研究も進めています。



ドメイン名とは

ドメイン名は、インターネット上のコンピュータやサービスを識別するための名前前で、URL（Webサイトのアドレス）やメールアドレスなどの一部分として使われています。その構成は、ルートを頂点とした階層構造を持ち、文字の並びを「.」（ドット）が繋いでいます。JPRSは「.jp」で終わるJPDメイン名を管理しています。



サービス全体のコンセプト

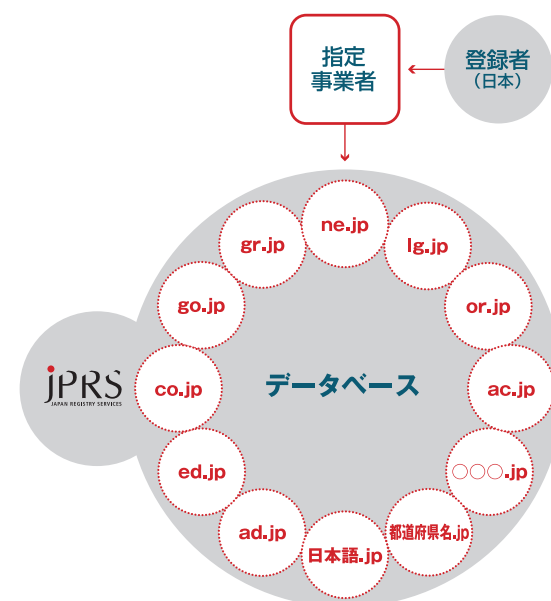
信頼性:社会的に信頼されるサービスの確立
安定性:安定したシステムの運用・管理
利便性:利用しやすいサービスの提供
経済性:適正なサービス料金の設定

JPDメイン名登録管理業務を理解いただくための3ポイント

1 JPDメイン名の登録管理

JPRSは日本に割り当てられたドメイン名である「JPDメイン名」の登録管理を行っています。ドメイン名はインターネット上のコンピュータを識別するための名前で、「インターネット上の住所表示」とも言われ、住所と同じように世界で一つしかありません。そのため、ドメイン名は重複しないよう、決められた一つの組織によって、正しく登録管理されなければなりません。

JPRSはJPDメイン名の、世界で唯一の登録管理組織（レジストリ）です。私たちJPRSは、登録時にドメイン名が重複していないか、登録条件を満たしているかなどの確認を行うとともに、JPDメイン名の登録情報のデータベースを運用管理しています。

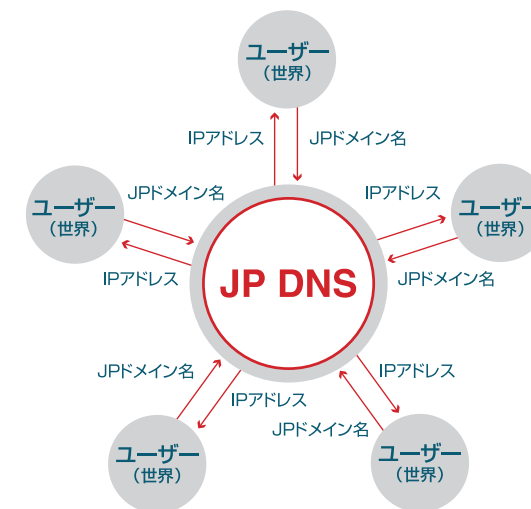


2 JP DNSの運用

インターネット上のコンピュータの通信は、実際にはIPアドレスという特別な番号を使って行われるため、ユーザーが入力したドメイン名に対応するIPアドレスを探し出す仕組みが必要です。この仕組みがDNS（ドメインネームシステム）です。

JPRSはJPDメイン名を管理するJP DNSの運用を行っています。JP DNSは、JPDメイン名を用いてインターネットにアクセスしようとする世界中のユーザーからの問い合わせに対し、対応するIPアドレスを探し出して答えています。

もし、DNSに不具合が発生すると、ユーザーはドメイン名を使ってインターネットにアクセスすることができなくなります。そのようなことが起こらないように、私たちJPRSは、JP DNSサーバーの多重化や地理的・ネットワーク的な分散配置などの取り組みを行い、24時間×365日体制でJP DNSの安定運用に努めています。



3 インターネットを支える技術研究・開発

JPDメイン名の登録管理とDNSの運用を、より安定的で信頼性の高いものにするためには、最新で高度な技術が欠かせません。私たちJPRSは、インターネットを取り巻く環境の劇的な変化や拡大する社会のニーズに迅速に対応するため、新技術の開発・研究に積極的に取り組んでいます。

具体的には、DNSに関する研究・開発、日本語を利用したド

メイン名である日本語JPDメイン名の利用環境を整備・推進する活動などを行っています。また、これらの活動を通じて得られた成果を、IETFなどのインターネット関連技術の国際的な標準化組織で共有し、さらには標準化のための提案活動へと繋げていきます。

**国際的なインターネット関連組織の一員として、
安定的で高品質なサービス体制の構築に貢献。
また「JPDメイン名」唯一の登録管理組織として
世界に認められています。**

JPRSの世界での役割とは

国際的なインターネット関連組織とJPRS

インターネットは国や地域の枠に閉じたものではなく、国際的に開かれたネットワークです。そのため、インターネット全体を円滑に機能させるには、国際的な運用体制の整備が必要です。JPRSはJPDメイン名のレジストリとして、国際的なインターネット関連組織に積極的に参画し、インターネットの安定的で高品質なサービス体制の構築に貢献しています。具体的には、ドメイン名やIPアドレスなどインターネット基盤資源のグローバルな調整やルートサーバーの運用管理を行うICANNの活動を支援するとともに、ccNSOの運営にも携わっています。またアジア太平洋地域のレジストリの連合組織であるAPTLDにも参画しています。

さらに、インターネット関連技術の国際的な標準化を進めるIETFの会合にも参加し、各種技術提案を行っています。また、

IAJapan、JAIPA、WIDEプロジェクトなどの国内のインターネット関連組織にも参画し、最新動向の情報交換や新サービスの提案・検討、日本語ドメイン名の普及促進活動、研究開発などに取り組んでいます。

JPDメイン名登録管理業務の 公益性確保とJPRS

JPDメイン名の登録管理業務は、日本のみならず世界全体のインターネット環境に影響するため、公益性のある業務といえます。こうした観点からJPRSは、ICANNや日本国政府、JPNICとの間で、JPDメイン名登録管理業務の公益性確保のための枠組みを維持・強化しながら、豊かなインターネット社会の構築に努めています。

